

私たちは、逆境を乗り越えて
夢を叶えるチカラを持っている

ビヨントゥモロー
ジャパン未来リーダーズサミット 2024
開催地:東京

10/12[土] 13[日] 14[祝] (2泊3日)

人との出会いは、人生の選択肢と可能性を広げてくれる

参加費

無料 (往復交通費・宿泊費・食費・活動に係る費用を主催者が規程に基づき負担)

募集人数

全国に居住している高校生約30名 (書類選考あり・詳細は応募要項参照のこと)
アまたはイの条件の一つ以上に該当する者。

- ア - 親が死亡している
- ひとり親家庭 (母子家庭・父子家庭) である
- 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている
- 里親家庭に暮らしている
- 生活保護受給世帯に暮らしている
- イ - 北陸3県 (石川県・富山県・福井県) 在住
- 北陸3県 (石川県・富山県・福井県) の高等学校等に在学していること
- 震災をきっかけに引っ越し等を余儀なくされた北陸3県にゆかりがあるもの

応募方法

2024年9月6日 (金) 郵送必着、またはGoogle formを通して提出
(7月16日より受付開始)

(応募用紙は当財団HP (<https://beyond-tomorrow.org/>)、または各高等学校に配布しています)

プログラム内容

著名人との対話セッション・ワークショップ・提言作成・
キャリアセッション・閉会式など

ビヨントゥモローについて

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン (地球市民) の輩出をめざす人材育成事業「ビヨントゥモロー」の運営を行っています。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う若者たちが集い、深い思考と真摯な内省を基軸に、他者との対話を試みるというアプローチを通じ、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々な活動を行っています。

ジャパン未来リーダーズサミット2024

10/12 [土] 13 [日] 14 [祝] (2泊3日) 開催

プログラム概要	10月12日 (土)	集合 (東京) ・ オリエンテーション ・ グループ分け ・ アイスブレイキング ・ 体験共有など
	10月13日 (日)	著名人との対話セッション ・ ディスカッション ・ 提言プレゼンテーション作成 ・ キャリアセッションなど
	10月14日 (祝)	閉会式 ・ 提言発表会 ・ フェアウェルランチなど 14時～15時頃東京駅解散予定 (各自で帰宅。引率なし)
募集人数	約30名 (内、約10名を北陸枠として選考予定。)	
応募資格	①プログラムに参加する時点で高等学校、高専またはそれに準ずる学校に在籍する者 ②下記のAまたはBのいずれかに該当すること。 A - 親が死亡している - ひとり親家庭 (母子家庭 ・ 父子家庭) である - 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている - 里親家庭に暮らしている - 生活保護受給世帯に暮らしている B - 2024年10月参加時点で、北陸3県 (石川県 ・ 富山県 ・ 福井県) に在住していること。 - 2024年10月参加時点で、北陸3県 (石川県 ・ 富山県 ・ 福井県) の高等学校等に在学していること - 2024年1月以前に北陸3県に在住 ・ 在学していたが 震災をきっかけに引っ越し等を余儀なくされた北陸3県にゆかりがあるもの ③10月12日～14日のプログラム全日程に参加できること。	
費用負担について	無料 (往復交通費 ・ 宿泊費 ・ 食費 ・ 活動に係る費用を主催者が規程に基づき負担します。 遠方からの参加者には、規程に基づき自宅最寄りの指定駅 ・ 空港 ・ 港～会場往復切符を主催者が支給します)	



ビヨントゥモローは、「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に困難な状況にある若者を応援しています。



“ビヨントゥモローに参加したことで、「自分が見失っていた大切なもの」に気がつけました。私は里親のもとで暮らすようになってから、児童養護施設で離れて暮らす妹と弟と会うと、父親からの虐待と学校でのいじめを思い出してしまうのでとても辛かったので、自分の家族のことがとても嫌いでした。ですがビヨントゥモローの同じ班のメンバーから「自分の家族が欲しかった」という言葉聞いたときに、私は初めて自分の妹や弟という家族がいることは他の人よりも幸せで大切なことなのだ気がつくことが出来ました。”

山中さん (仮名) K大学 (都立K高等学校卒業)
高校2年の時に初めてビヨントゥモローの年間奨学金プログラムに参加し、その後、サミットに参加。



“自分だけが辛い経験をしてると思っていた。ビヨントゥモローの仲間に出会え、そうではないと知るとともに、自分を受け入れてくれる、支えてくれる仲間・家族ができた。そして、自分たちだからこそその視点で社会・世界を見て私たちに何が出来るのか考えるのがすごく楽しく、仲間からいつも刺激を貰っています。”

鈴木さん (仮名) H大学 (北海道A高等学校卒業)
高校1年の時に初めてサミットに参加し、その後、ビヨントゥモローの年間奨学金プログラムに参加。

BEYOND
Tomorrow

主催 一般財団法人教育支援グローバル基金
〒150-0046 東京都渋谷区松濤1-26-18 園ビルディング1F
電子メール : info@beyond-tomorrow.org
電話 : 03-5453-8030

過去のサミットの
様子や参加者の
声を発信中!



Instagram



X

【応募要項】

ビヨンドトゥモロー

ジャパン未来リーダーズサミット 2024 (参加費無料)

— 全国の高校生・大学生が考える、日本の未来、世界の未来 —

一般財団法人教育支援グローバル基金は、2024年10月に、「ジャパン未来リーダーズサミット 2024」を開催します。本サミットは、日本全国から、広い視野を持ち、他者に想いを馳せることのできる共感力ある人材を輩出するという趣旨の下に開催されます。特に、社会経済的な事情など様々な理由で機会を得ることが難しい状況にある学生を対象とし、日常とは異なる気づきと発見を経て、より広い視野から自分の社会における役割を考える機会の提供を目的としています。また、今回のサミットでは、北陸3県（石川県・富山県・福井県）の学生を対象とした特別選考枠を設けています。

2泊3日のプログラムを通し、参加者たちはそれまでの人生の体験を共有し、また、様々な領域で活躍するリーダーたちによるアドバイスの下、社会に存在する課題について検証し、日本の未来について、世界の未来についてグループ毎に提言をまとめます。その提言は、最終日に、政治・行政・ビジネス・メディア・NGOなど各方面のリーダーたちの前で参加学生自らによって発表されます。また、対話形式のプログラムの中では、幅広い領域で活躍する第一人者の方々を招いて将来のビジョンについて考える機会も提供します。

また、大学等への進学者を対象とした奨学プログラム「ジャパン未来スカラシップ・プログラム 2025」へ応募を考えている方は、ぜひ本サミットへの応募もご検討ください。かけがえのない仲間たちと出会い、将来に向けて視野を広げ、社会における自分の役割について考えるきっかけとして、サミットへの応募・参加をお待ちしております。

【主催】 一般財団法人教育支援グローバル基金

【実施場所・時期】

- 開催場所：東京都内（合格者には、後日詳細をお知らせします）
 - 宿泊場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3-1）（予定）
 - 時期：2024年10月12日（土）～14日（祝・月）
 - 集合場所：10月12日（土）午後 東京集合
- ※ 復路：10月14日（祝・月）14時～15時頃東京解散予定。
（遠方からの参加者については、事前に飛行機／新幹線／特急／バス／船切符を送付します）

【費用】

- 無料（往復交通費・宿泊費・食費・活動に関わる費用を主催者が規程に基づき負担します。遠方からの参加者の交通費は、規程に基づき自宅最寄りの指定駅／空港／港～会場間の往復切符を支給します）

【プログラムスケジュール】 ※詳細は変更となる可能性があります。

- | | |
|-------------|--|
| 10月12日（土） | 集合（東京）・オリエンテーション・グループ分け・アイスブレイキング・体験共有など |
| 10月13日（日） | 各界第一人者との対話セッション・ディスカッション・提言プレゼンテーション作成・キャリアセッションなど |
| 10月14日（祝・月） | 閉会式・提言発表会・フェアウェルランチなど・14時～15時頃東京駅解散予定
（引率なしで各自帰宅） |

【募集対象者】

以下「応募資格」を満たす、一般選考より約 20 名、北陸枠選考より約 10 名 合計約 30 名を選考予定

【応募資格】 以下 1～3 の条件を満たす者。

1 プログラムに参加する時点で高等学校、高専またはそれに準ずる学校に在籍する者（4 年制、5 年制などの学校に通う方は、1 年生～3 年生が対象となります）。全日制・定時制・通信制の全てが対象となります。

2 下記の(1)か(2)のいずれかに該当すること。

(1) 一般選考（以下①～⑤のいずれか一つに当てはまること）

- ① 親が死亡。
- ② ひとり親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。
- ③ 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている。
- ④ 里親家庭に暮らしている。
- ⑤ 生活保護受給世帯に暮らしている。

※①～⑤の条件について、応募時点で法的に満たしていることが必要となります。後日、証明するための公的書類を提出いただく可能性があり、条件を満たしていないと判断した場合には、応募・参加は認めません。

(2) 北陸枠選考（以下①～③のいずれか一つに当てはまること）

- ① 2024 年 10 月参加時点で、北陸 3 県（石川県・富山県・福井県）に在住していること。
- ② 2024 年 10 月参加時点で、北陸 3 県（石川県・富山県・福井県）の高等学校等に在学していること。
- ③ 2024 年 1 月以前に北陸 3 県の高等学校等に在学していたが震災をきっかけに引っ越し等を余儀なくされた北陸 3 県にゆかりがあるもの。

3 10 月 12 日～14 日のプログラム全日程に参加できること。

【応募受付開始・締切】

受付開始：2024 年 7 月 16 日（火）～締切：2024 年 9 月 6 日（金）（郵送必着または Google form 23:59 まで）

【合格通知について】

2024 年 9 月 17 日（火）までに、合格者のみに発送いたします。合格者本人宛てに通知を送付します。

【応募書類について】

1. 提出書類

(1) 応募用紙 (2) 課題作文 (3) 学校長からの推薦状(フォーマット自由)

2. 課題作文について

以下の設問①～④について、記入する際の条件や注意点をよく読み、記入してください。

設問①： ビヨンドトゥモローは、「逆境は優れたリーダーを創る」を理念とし、困難を経験した人こそ、人の心の痛みに想いを馳せ、社会をよりよい場にすべく行動できる人材になる資質を持っていると考えています。あなたのこれまでの人生の中で、どんな困難がありましたか。そして、その経験は、あなたにどのような影響を与えたと考えますか。（400 字以内）

設問②： 現在の社会において、どんな課題を抱えた子どもたちがいますか。その子どもたちは、どんなことを必要としているのでしょうか。これまでの自分自身の体験を用いて説明してください。（400 字以内）

設問③： 高校卒業後に希望している進路・分野、将来の夢について詳しく教えてください。（200 字以内）


設問④： 現在、打ち込んでいる活動や、特技があれば教えてください。（200 字以内）

<記入する際の条件・注意点>

- ・各設問に設定された文字数内で記入すること。
- ・（郵送の場合）全てのページに、氏名、学校名、ページ番号をフッター（ページの下）に記載すること。また、ホチキスどめ、クリップどめしないこと。

3. 提出方法

以下のアまたはイの方法を選び、締切までに応募してください。

ア	<p>Google form を使用して提出（「応募者情報」、「課題作文」を直接入力、「学校長からの推薦状」（フォーマット自由）は郵送、FAX、または PDF データをメールのいずれかで提出。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Google form：下記の URL もしくは、右記 QR コードからアクセスしてください。 https://forms.gle/27J3ZyEfhWDM6jDLA ・ メール宛先：info@beyond-tomorrow.org（※必ず応募者氏名をメール内に記載してください） ・ FAX 宛先：03-6745-9100 	
イ	<p>郵送</p> <p>郵送の場合の送付先は、以下の通りです。（切り取って郵送先のラベルとして使用してください）</p> <p>※郵便局留のため、宅急便では受取ができません。必ず郵便でお送りください。</p> <p>※応募期間中のみ開設している受付窓口です。受付期間を過ぎた郵送物は 10 日後に返送されます。</p> <p>※遅配・不達等の郵便事故の責任は負いかねますのでご了承ください。</p>	

キリトリ

〒150-8681 東京都渋谷区渋谷 1-1-2-13
 渋谷郵便局留
 一般財団法人教育支援グローバル基金
 ビヨンドトゥモロージャパン未来リーダーズサミット 2024 係行

※提出頂いた情報は、ビヨンドトゥモローから、ビヨンドトゥモローのプログラムの運営および各種の取り組みのご案内のために使用されます。この目的の適正な範囲内において、いただいた情報は、委託先に必要に応じて提供されることがあります。

例年、間違った住所への送付、締切後の到着、応募用紙の必要事項の記入漏れなどの理由により、受理できない事例が多数発生しています。必ず提出方法を確認の上、正しい方法で期日までに提出してください。受理されたかどうかの確認、受理できなかった理由についてのお問い合わせは一切受け付けておりません。

参加体験者のストーリー



菅野さん（仮名） J 大学総合グローバル学部（U 学院高等学校）

幼少期に父親と離別し、以後母子家庭で生活する。成長する中で自分の境遇に対し葛藤を抱くことが多かったが、高校生のときに参加したジャパン未来リーダーズサミットを通して、自分の将来について深く向き合う機会を得た。その後ビヨンドトゥモローの大学生向け奨学生プログラム「ジャパン未来スカラシップ・プログラム」およびインターンに参加。

私がビヨンドトゥモローを知ったきっかけは高校の教室に届いた一枚の応募要項が記載された用紙でした。教室の掲示板に貼られたプリントを何度も見返しながら、幼少期から無意識に感じていたひとり親家庭の中で感じる心の中の疎外感・葛藤、そして小さい頃から感じていた、「自分のような境遇にいる学生との対話の時間を通して何かを共有してみたい」という気持ちをひしひしと感じていました。でも自分自身で知らない世界に飛び込むような感覚を同時に感じ、参加に対してためらいを感じていました。しかし、応募要件にもあるようにひとり親家庭で育つ私自身だからこそ、参加する意味があるのではないかと感じ、ジャパン未来リーダーズサミットへの参加を決めました。

サミットの参加を通して印象的だったのは、自分の境遇や関心について共有する時間です。どの地域からサミットにきたのか、自分のバックグラウンド、関心があることなど、様々な思いと一緒に参加する仲間と共有しました。また、普段から自らの境遇を話すことを無意識に避けていた自分をあらためて認識したり、自分自身はもちろん、その場に集う学生がそれぞれの境遇に立ち返り、一つ一つの感情を言葉に置き換える瞬間があったりそんな時間が印象的でした。もう一つ印象的だったのはサミットの集大成として行われる提言発表、そして提言発表までの真剣に議論を行う時間です。自らの境遇や価値観を話しているからこそ、自分を偽らずに心のままに意見を交わすことができたり、時には結論が見えずにみんなで頭を抱えたり、そんな議論の時間がとても思い出に残っています。

ジャパン未来リーダーズサミットをきっかけに、昨年度は年間の奨学プログラムにも参加をしました。ビヨンドトゥモローを通じて出会った一人一人の仲間と時間を共にすることで、自分自身そして他者の存在を感じられることがビヨンドトゥモローで活動する意義だと感じています。

ジャパン未来リーダーズサミットの応募用紙を読んでいるみなさんは、誰かに気持ちを共有したい、誰かとの出会いを大切にしたい、あるいは自分の可能性を広げてみたいと感じている方も沢山いると思います。そこには挑戦という気持ちよりも緊張や不安が大きいかもかもしれません。でもきっとみなさん自身や周りの人々が様々な形で背中を押してくれると思います。サミットに集まる仲間と自分や他者を改めて考える機会にできたら、一人一人にとって大きな収穫になる機会だと思います。誰かの価値基準ではなく、自分自身の素直な心で他者との関わりを広げてみませんか。

よくあるご質問 (FAQ)

Q 遠方に住んでおり、指定の時間までに東京に到着できるか不安なのですが、応募できますか。

A 遠方に住んでいる参加者は、個別に交通経路を手配しますので、奮ってご応募ください。

Q 応募は、学校単位ですか。一校あたりの応募数に制限はありますか。

A 応募は、学校でとりまとめていただいても、ご本人が個別に送っていただいても構いません。ただし、合格通知は、学校ではなく、ご本人に送付します。一校あたりの応募者数に制限はありません。

Q サミットに保護者や教員が同行することはできますか。

A サミットにはご本人のみの参加となり、保護者や教員の方がサミットに参加することはできません。

Q 地方に住んでいて、県外に出たことがほとんどありません。一人で東京に行けるかどうか、プログラムについていけるか不安なのですが、大丈夫でしょうか。

A 参加者の多くが初めて一人で上京しますし、このような活動が初めてという人がたくさんいます。不安の中で応募し、挑戦することで大きな成長を遂げた人がたくさんいますので、ぜひ奮ってご応募ください。

【一般財団法人教育支援グローバル基金およびビヨンドトゥモローについて】

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」を運営し、奨学金支給および人材育成プログラムの運営を行っています。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う若者たちが集い、深い思考と真摯な内省を基軸に、他者との対話を試みるというアプローチを通じ、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々なプログラムの運営を行っています。

理事	橋本 大二郎（代表理事） 小林 正忠	元高知県知事 楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイングオフィサー
	木山 啓子 本庄 竜介 村瀬 悟	特定非営利活動法人ジェン（JEN）理事・事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	塩崎 恭久 宮城 治男 小宮山 利恵子	一般財団法人勁草日本イニシアティブ代表理事 NPO 法人 ETIC. 創業者 スタディサプリ教育AI研究所所長 東京学芸大学大学院准教授
監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授 慶應義塾大学 名誉教授 元国務大臣

【設立年月日】

2011年6月

【所在地】

〒150-0046 東京都渋谷区松濤 1-26-18 園ビルディング 1F

【問い合わせ先】

電話：03-5453-8030 FAX：03-6745-9100

メールアドレス：info@beyond-tomorrow.org HP：<http://beyond-tomorrow.org>

※本用紙はコピーして使用できます。

ビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2024 応募用紙 (郵送用)

名前	(氏)	(名)			
ふりがな	(氏)	(名)			
ローマ字	(氏)	(名)			
応募者連絡先	自宅/携帯:	メールアドレス:			
性別		生年月日		学年	
自宅住所 (郵便物送付先)	〒				
学校名	学校名 (正式名称)				
	学校住所 〒				
	種類 (○をつける) 全日制 ・ 定時制 ・ 通信制 ・ その他 ()				
応募資格	下記の中で、該当するもの全てに○をつけてください (例: 保護者が死亡したために現在単親家庭である場合は、1と2と両方に○をつけてください) 1. 親が死亡している。 いつどのような事情でどなたが亡くなったのかできるだけ詳しく記述してください。 [] 2. 現在、ひとり親家庭である。 該当するものに○をつけてください。 父子家庭 ・ 母子家庭 ・ その他 (具体的に説明してください) 3. 現在、児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている。 いつから施設に暮らしているか記入してください。 (西暦) 年 月から 施設名 _____ 施設種類 (○をつけてください) 児童養護施設 ・ それ以外 (具体的に) _____ 4. 現在、里親家庭に暮らしている。 (西暦) 年 月から 5. 現在、生活保護受給世帯に暮らしている。 いつから生活保護を受給しているか記入してください。 (西暦) 年 月から 6. 2024年10月参加時点で、北陸3県(石川県・富山県・福井県)に在住している。 7. 2024年10月参加時点で、北陸3県(石川県・富山県・福井県)の高等学校等に在学している。 8. 2024年1月以前に北陸3県に在住・在学していたが震災をきっかけに引っ越し等を余儀なくされた北陸3県にゆかりがある。 上記に関して、事実と異なる記述や虚偽の申告があった場合には、応募資格・参加資格が取り消されることがあります。				
自宅からの経路	東京に行く際に使用する主な交通手段に○をつけてください。 JR線 or 私鉄 新幹線 飛行機 船 特急 その他 () 上記の交通手段をとる際の、自宅最寄駅/空港の名前を記載してください。 ()				

本応募用紙に、偽りのない内容を記入した上で、ビヨンドトゥモロー ジャパン未来リーダーズサミット 2024 に応募します。

記入日 (西暦) 年 月 日

本人氏名 _____ 保護者氏名 _____ (本人との関係) _____

提出頂いた情報は、ビヨンドトゥモローから、ビヨンドトゥモローのプログラムの運営および各種の取り組みのご案内のために使用されます。この目的の適正な範囲内において、いただいた情報は、委託先に必要に応じて提供されることがあります。